



水のひびき

第28回坂戸市消防団消防ポンプ車操法大会



3人揃い基本注水姿勢



俊敏性が問われるホース延長

平成26年6月22日（日）あいにくの雨の中、勝呂分団第1部、宮下指揮者による選手宣誓を皮切りに、2年に1度行われる坂戸市消防団消防ポンプ車操法大会が、盛大に開催されました。

操法大会とは、指揮者と4名の競技者で編成された1隊5名が、消防ポンプ車からの放水により、迅速かつ正確に火点と呼ばれる標的を倒し、撤収するまでの一連の動作を競技会形式にて披露する行事です。

消防訓練の一環であることはもちろんの事、競技としてタイムを縮めるだけでなく、一糸乱れぬ選手達の動きも、この大会の見どころです。

指揮者の号令が響く会場では、張り詰めた空気の中、今か今かと自分たちの出番を待つ団員もいれば、全力で操法を終え、余韻に浸る者もいます。一隊一隊に様々なドラマを感じることが出来ました。

今大会において、本番というプレッシャーをはねのけ、素晴らしい操法を披露し、名誉ある称号を授かった、入西分団第1部（1位）、入西分団第3部（2位）、勝呂分団第1部（3位）に、多くの称賛の眼差しと、次大会への熱い闘志が向けられていたことは間違いありません。

（文・勝呂2 石川 達也）



宮下指揮者による選手宣誓



高い技術を要す機関操作



総勢八十名が出場した操法大会において、特に俊敏性が要求され総合力が必要となる二番員で個人賞に輝いたのは、勝呂分団第2部 荒井 正和さんでした。

二番員 個人賞 荒井 正和 さん

勝呂分団第2部（団員歴六年目）

個人賞が発表された瞬間、信じられないという気持ちと同時に、訓練した成果が実り、本当に良かったと思っただけです。諸事情により大会直前に急遽二番員という重要な役割を担うことになったので、当日の緊張もひとしおでした。人員不足により、全体での訓練が思うようにできなかった中、個人での訓練も積み重ねた大会当日に挑んだそうです。

取材では、訓練をサポートしてくれた部員の方々に、諸先輩方、そして消防団活動に対して理解し、全面的に支えになってくれた家族に感謝の気持ちでいっぱいです。次大会でも個人賞を取り、今度は勝呂分団第2部を優勝に導きたいです。と力強く語ってくれました。

（文・勝呂1 市川卓也）



優勝（大会三連覇） 入西分団第1部

大会に向け三月下旬から訓練を開始し、六月からは週四日で実施。

その他、夜間は各番員が考え、自主練を行い大会に臨んだそうです。大会初出場者が三名いた事もあり、訓練中は厳しい言葉が飛び交っていました。そのため、指揮者の戸丸さんは、各番員のストレスを少しでも軽減できるようにコミュニケーションを取ることを一番大事にしたそうです。

今回の結果は、仕事も年齢も違う部員全員で初練習から約二十回以上も集まり目標に向かって一つになれたのが勝因だと思っています。また、先輩達に培って頂いた土台や、常日頃から協力戴いている地域の方々の存在にも、改めて感謝した大会でした。

今後も「縁」で集まった団員と消防団活動をまい進して行きたい。と熱く語ってくれました。

（文・入西2 廣澤賢一）



今年度設立60周年坂戸市消防団始動

辞令交付式

雲ひとつない晴天の一日となった、去る平成二十六年四月六日(日)に、勝呂公民館において、坂戸市消防団辞令交付式が挙行されました。

辞令交付式とは、年度始めに消防団長が、団員の異動、配属する部署、役職、階級等を任命し辞令を交付する式典です。

当日は、早朝より全団員が集まり、役職ごと(分団長、部長、新入団員等)に分かれ礼式訓練が行われ、礼節の重要性を再認識して式に臨みました。

厳粛な雰囲気の中、御来賓、消防関係者の皆様に訓示をいただきました。

今年度は、三十六名の役職異動があり、また新たに十二名の消防団員が任命さ



れました。新入団員を代表して、坂戸分団第1部東和明さんに辞令が交付され、宣誓では、郷土を守る決意と、地域住民の安全・安心のために尽力することを力強く宣言しました。

団員の確保が難しい近年、十二名の新たな仲間への加入は喜ばしく、今後の活躍が大いに期待されます。これにより、坂戸市消防団は小島団長のもと総勢二百三十五名で、新年度がスタートしました。

東日本大震災以降、地域総合防災力の強化は重要課題となり、もしもの時に大切な郷土を守るため、自主防災組織等と連携し、災害に強い街づくりに取り組んで参ります。

(文・入西3 渡辺 大輔)

坂戸市消防団勝呂分団第2部

今回私たちが訪れたのは、坂戸市消防団勝呂分団第2部です。田園地帯に囲まれた、昔ながらの家々が建ち並ぶ場所に位置し、坂戸市北部にある島田・赤尾地区を管轄しています。

加部部長を中心に12名の団員で構成され、年齢層は20代から40代と幅広く、公務員3名を含む職種は多様性に富んでいます。団員同士がそれぞれの立場を理解し合い団結して住民の生命、身体及び財産を守るため、日夜消防団活動を行っています。

取材に訪れてまず感じたのは、詰所がとても整理整頓されていたことです。「安全第一! 明るく元気に!」をモットーに、団員一同大変フレンドリーな部でした。

今後の課題は、参加率の向上と新人のスキルアップだそうです。今年度は操法大会の年でもあり「目標入賞」と熱く語っていただきましたが、惜しくもあと一歩のところまで入賞を逃しました。しかし、この大会を通してより一層、操法のレベルが高まり団結力が強まったとのことで、すばらしい部だと感じました。取材が終わり、私たちが帰る際、深々と一礼をしていただき、勝呂分団第2部の真面目さと誠実さが伝わりました。

(文・三芳野1 鎌田 高広)



坂戸市消防団消防演習

去る平成26年3月2日(日)消防演習を実施いたしました。今回の訓練は、東京湾を震源とするマグニチュード6強の直下型地震が発生し、坂戸市内全域において建物の倒壊及び火災が発生し、要救助者が多数いる状況を想定したものでした。

各分団は、徒歩による団員参集訓練後、デジタル無線にて被害状況の情報伝達訓練をし、消防車両にて各会場に出場しての放水訓練。その他、負傷者への応急処置訓練も行われました。多機能部隊は救助資機材を使用した救助訓練。女性部は危険想定箇所の確認、空き缶を利用した簡易コンロを作成して調理するサバイバル訓練などを実施しました。

昨今、全国各地にて自然災害が多発しており、



いざというとき消防団は何かできるかを改めて考えた一日となりました。

(文・入西2 廣澤 賢一)

おとうさんといっしょ!

坂戸分団第1部

市川 大 団員
長男 太洋くん
長女 優衣ちゃん
次女 愛依ちゃん



入西分団第3部

三田 俊吾 団員
恵美子夫人
長男 樹生くん
次男 倅希くん



あなたの力が地域を守る大きな力となります

消防団員募集

問い合わせ先 坂戸・鶴ヶ島消防組合庶務課
電話 281-3118 内線234

